

Xantia



CITROËN

Xantia

進化は、かくも美しい。

天性の芸術家が流れるようなラインを描き、
そこに技術者の誇り高き魂が熱きながらも静かに脈動する。

Science Meets Art. 科学と芸術の知的融合。

シトロエンが次なる革新として、

時代に、そして、あなたにアンサーするもの、

新世代シトロエン・エクザンティア——西武から。



形には知性がある。誇りがある。 新しき正統のグッドデザイン。

シトロエン技術の象徴“X”を冠しながらも、
そのネーミングに、アキレスの不死の馬・XANTHOSや
アジアとヨーロッパの民族移動の交差点、
古代トリア近くの河川・XANTHOSなどの由来を持つXantia。
その使命は、シトロエンの伝統を継承しつつ、それを革新することでした。
高貴な血統の駿馬がまさに跳躍せんとする躍動的なフォルムは、
巨匠ベルトーネとシトロエン社内チームの合作によるもの。
空気抵抗係数Cd:0.30のほどよく強調されたウエッジシェイプ。
りりしくも優しい表情をもつフロントフェースから、
クーペを想わせる余裕のあるドア部分、そして安定感のあるリアへ。
そのエレガントなストリームラインは、
ありきたりでなく、過度にはしらず、まさに品格とも呼ぶべき美しさです。
これからの時代にシトロエンが世界に問う、新しい高級ワールドカーの誕生です。



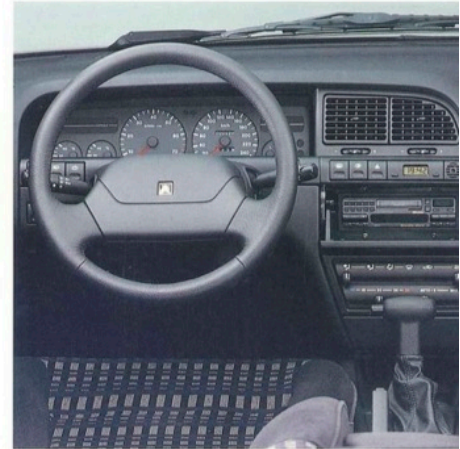
新しい時代を走る
美しきサラブレッド、エグザンティア。



乗る喜び。操る愉しみ。
意のままのグッドドライビング。



シトロエンがエグザンティアの開発でめざしたものは「先端テクノロジーとヒューマン・ポテンシャルの共生」でした。単なる未来カーを過度なロボット化の未来工場で製造することではなく、生産プロセスにおけるハイテクと人間の能力の調和が生みだす、新しいクルマづくりのスタイル。乗る人に人・車一体という言葉があるように、造る方にも人・技一体というコンセプトが貫かれています。そのエグザンティアの生産地・仏レンヌのラ・ジャネ工場は新たな生産システムのモデルセンターとなっています。そして、エグザンティア開発計画のキーワードは「人間工学・品質・信頼性」。この3つがエグザンティアのコクピットにも体现されています。たとえば、ダッシュボードはコンパクト・フォームの単一ブロックで成型されており、レザーと同質の肌触りを実現するとともに、ノイズと振動の低減にも寄与。チルトステアリング機能により上下調節が可能。常にベストなドライビング・ポジションが得られます。また、美しい曲面デザインのダッシュボード・インジケーターは、各種メーター類やスイッチ類の見やすさ、使いやすさと



ともに、バックの色として温かみのあるグレートーンを採用しました。そして、助手席側のグラフ・ハンドルは、同乗者による車の乗降やシート調節などの動作をスムーズにアシスト。さらに、オートマチック・バックモード・ドアミラーはシフトをリバースに入れると助手席側ミラーの角度を変え、歩道や車後部を写しだすという安全・信頼の機構です(V-S X)。ここでも人にやさしい人間工学の配慮がされています。



快適に。安全に。
心からのリラクゼーション空間。



ドライバーズシートに座る。全身を包む心地よい上質な雰囲気。その外観のイメージからは想像できないほどのゆとりある広い室内スペース。市街地を、ハイウェイを、ワインディングロードを、自由に、快適に、安全に楽しむためのクルマ、エグゼンティア。上質なサルーンとして、その室内空間は「居る」だけでも快適なものでなければなりません。エグゼンティアの室内長/室内幅はそれぞれ1855mm/1465mm。クラス最高レベルの居住性を実現しています。とくにフロントスペースには十分な広さを確保したうえ、ドライバーズシートはスライド、リクライニング、ハイトの各調節が電動で可能(V-SX)。ドライバーの体型に合わせて長時間ラクな運転姿勢を保つことができ、運転席まわりの広さとあいまって、ロングツーリングにおけるドライバビリティには格別なものがあります。また、リヤスペースも、凹型のフロント・シートバックの採用により、レッグスペースに余裕が生まれ、より高い居住性を発揮。丸みを帯びた新タイプのヘッドレストによる視界の良さも加わって、より快適な乗車感を実現しています。さらに、リヤのラゲッジ・スペースは、リヤシートを1/3・2/3・全面と、自由に分割倒すことにより、480~878ℓまでのフレキシブルなスペースを創出。パーソナルなクルージングから大きなレジャーツールを横断でのア



ウトドライフまで、多様な用途に適応します。しかも、リヤシートのセンターアームレスト部には、「スキー・フラップ」を装備。スキーや釣り竿などの長尺物の収納に便利です。そして、エグゼンティアはこの広い室内スペースとともに、低いボディラインと総面積3.57m²のワイドなガラスエリアにより、極めて明るい空間を実現。広々とした視界がドライビングをさらに快適・安全にします。室内を快適に保つエアコンディション(R134a使用)には花粉フィルターを採用し、花粉やダスト、一部のバクテリアをシャットアウト。これも心からのリラクゼーションをするための配慮の一つです。



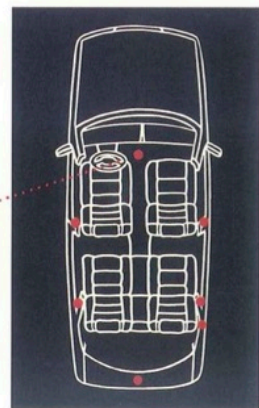
上質な仕上げ。洗練されたテイスト。
ヨーロッパの粋がここにある。



シトロエンの“味”とも“粋”ともいわれる、最高レベルの仕上げと洗練されたデザイン・テイスト。エグザンティアでは、最先端の開発技術とラ・ジャネ工場の製造技術により、仕上の良さにさらに磨きがかかりました。たとえば高級車であることの条件の一つである、静粛性と防振性。シトロエン社の有する半無響室ではアイドリング状態でドライビング・ノイズやエンジンのうなり、内部ノイズなどの音を信号処理して分析・シミュレーション。ドアの開閉音の微妙な知覚品質までチェックしています。また、「出音」室と「入音」室の2つの残響室では、ボンネットやバルクヘッド、ドア、トランクの中/高周波音響の絶縁を解析。その成果がエグザンティアの絶縁材やシール、ジョイントといった防音システムの開発に活かされています。エグザンティアのドアを閉める時の重厚ながら、かつ澄んだ音。そこには、剛性や耐久性、緻密性などのほか、こうした音に対する感性レベルまでの研究努力が傾けられているわけです。室内の仕上げでは、設計段階から実寸大のインテリア・プレゼンテーション・モデルMAPIによる検査システムを採用。このインテリア・フィッティングのための基準モデルにより、製造までのすべての段階でインテリアの細部に到る品質検討が可能になり、シート



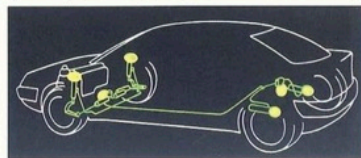
やカーペットの素材・カラーリングからトータルコーディネートまでが吟味されました。すべては乗る人のベストなクルマづくりのために、いわば、イメージを科学し、科学をデザイン化していく作業。その細部まで入念に設計するという思想は、たとえば、人間工学的に形と配置が考えられたパワーウィンドーとドアミラーのコントロールパネル、光や風を自由に調整できるチルトアップ&スライド式の電動式ガラス・サンルーフ、ドアとリアゲートの施錠がリモコンでできるキーレス・エントリー・システムなど、各部機構にまで及んでいます。



伝統のさらなる進化。 第2世代インテリジェント・サスペンション、ハイドラクティブII。



シトロエンの伝統を継承しつつ、それを革新すること。エグザンティアに課せられたこの使命を、機構面で一番象徴しているのがサスペンションでしょう。シトロエン伝統の「ハイドロニューマチック」を革新した電子制御油圧サスペンション「ハイドラクティブ」が、このエグザンティアでさらに進化・熟成しました。エグザンティアV-SXに採用された、第2世代インテリジェント・サスペンション「ハイドラクティブII」の登場です。ハイドラクティブの基本的な原理は「車速」、「アクセルの開度」、「ステアリングの操舵角度と操舵速度」、「ブレーキ圧」、「ボディの振幅・上下動速度」という各センサーからの情報をコンピュータが瞬時に分析。クルマのリアクションに先行して5/100秒以下という速さでサスペンション・セッティングを自動的に調整するというものです。つまり、最適なロードホールディングを得るためのハードなスプリングとハードなダンパー。最良の乗り心地をもたらすためのソフトなスプリングとダンパーのソフトな減衰力。この相反する要素をコンピュータが油圧回路をコントロールすることにより、常にベストな乗り心地と車体姿勢を確保するというのがハイドラクティブ・サスペンションです。



ハイドラクティブIIは、このハイドラクティブの第2世代として、演算ポテンシャルが従来の約3倍という高度なインテリジェンスを実現。解析能力・反応速度共により進化し、まさに「ドライビングの快適さ・愉しさ」と「安全性」を高次元で両立しました。さらに、停止時/走行時



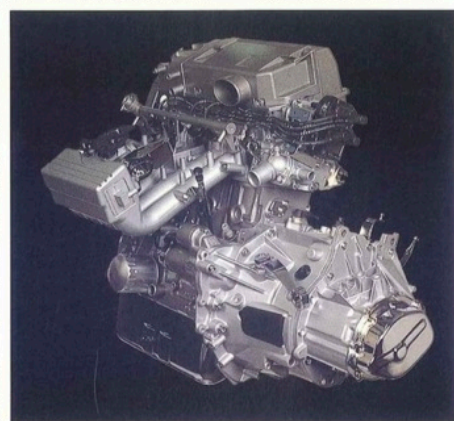
問わず、リラックス走行のための「NORMAL」モード、ダイナミックなスポーツ走行のための「SPORTS」モードの2つのサスペンション・セッティングをセンターコンソール部のスイッチ操作ひとつで選択することが可能。走行状況に合わせてお選びいただけます。なお、SXに採用のハイドロニューマチック・サスペンションも各部を改良。さらに完成度を高めています。そして、もちろん、どちらのシステムにも車高を4段階に調節するハイトコントロール機能や車体を路面に対し常に平衡に保つセルフレベルリング機能は継承されています。

静かなる強さ。真の余裕。 時代にミートするトータルバランス設計。



単に走るためだけではない。ただパワーを誇示するだけではない。操ることの喜びと乗ることのアメニティ、環境への配慮、そして何よりも安全性・信頼性を求め“ベスト・イン・クラス”のクルマづくりをめざしたエグザンティア。いわば、オーナーが、社会が、時代が求めるトータルバランス設計がエグザンティアの大きな魅力です。この思想はパワートレインにも生かされ、まずエンジンは、出力性能、経済性、信頼性、耐久性、そして環境保護のいずれにおいても高い評価を得ているXU系エンジンをもとに、1998ccの最新エンジンを新開発。マルチポイント・インジェクション、速度とギア比に応じてコンピュータが燃料噴射と点火タイミングを調整するソリッド・ステート・イグニッション、ベルト駆動のオーバーヘッド・カムシャフト。これらの特長を備え、最大出力120ps/5750rpm、最大トルク18.3kg-m/2750rpmを発生。ゆとりあるパワーとともに、低回転域からの豊かなトルクで、優れたドライバビリティを発揮します。また、高級サル

ンにふさわしいエンジンとして静音性にも大きな配慮がはらわれています。トランスミッションはロックアップ機構付き4速オートマチックを採用。パワーロスを大幅に低減し、マニュアル車なみの性能と燃費を実現しています。そして、そのパワートレインを支えるシャシー、



ボディ構造は高い水準の強度と安全性を達成。先進のCAD/CAM設計により、ねじれ・曲がり剛性とも、従来のほぼ2倍にあたる構造的強度を実現。きわめて優れた走行安定性とともに騒音軽減にも大きく寄与しています。さらに、耐久性や防錆の面では、ボディおよび構造部の80%におたる防錆鋼板の使用や鋼板に対する30ミクロンの肉厚カチオン塗装、約4000箇所ものスポット溶接などの入念な対策を実施してい

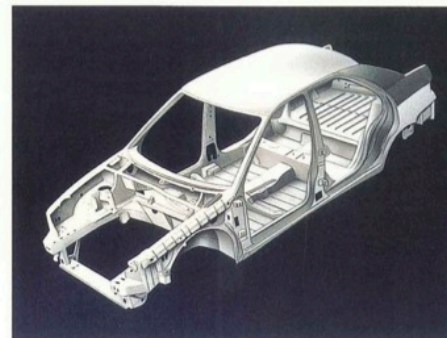
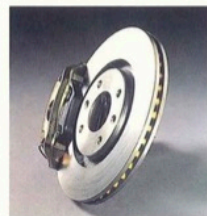
ます。環境保護の面でも、ノンフロンエアコンをはじめとする有害な資材の排除、クリーンな生産プロセスの活用にはじまり、「廃棄ゼロ=100%リサイクル」をめざして、エグザンティアでは廃車時に全部品の80%までリサイクルできるまでになりました。



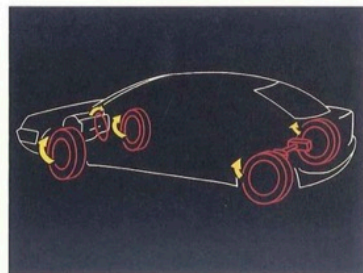
あなたのために。ご家族のために。
アクティブ&パッシブ・セーフティ。

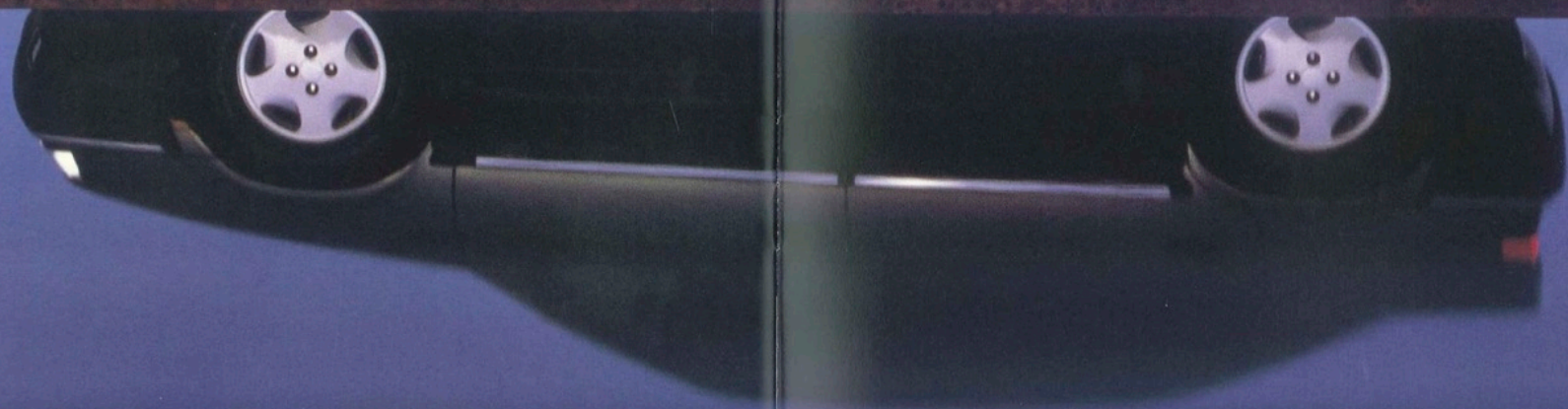


シトロエンの卓越した安全性能。その進化もエグザンティアは達成しました。まず、予防=アクティブ・セーフティでは、独自開発の新技術から生まれたセルフステアリング・リヤアックスルを採用。これはコーナリング時にリヤホイールをフロントホールと同じ方向に導くことで車の安定性を確保するもので、エグザンティアでは、もともと不利な条件下でも本来のスタティック・セッティングが維持できるよう、セルフ・ステアリング性を残しつつ操舵角を小さくしています。ハイドラクティブII・サスのコンビネーションにより抜群のロードホールディング性能を発揮します。また、ステアリングは、市街地走行時の取りまわしの容易さと高速走行時の走行安定性を両立する車速感応式パワー・ステアリングを装備。そして、ブレーキは油圧アシスト式、二重回路の4輪ディスク(フロントはベンチレイトッド)により確実な制動性能を発揮。走る・曲がる・止まる、をきわめて正確にコントロールします。さらに、ライティングには、「コンプレックス・サーフェイス」ツインユニット・ヘッドランプを採用。高い照度と、ロービーム/ハイビーム切替時のブラックホール現象の解消など一層の安全性を約束します。保護=パッシブ・セーフティでは、まず、フロント、リヤ、サイドからの各衝撃をスーパー



コンピュータを駆使したシミュレーションで分析。フロントからの衝撃には、フレームレールのデフォルム衝撃吸収でパッセンジャーを保護。サイドからの衝撃には、サイド・ドアビームおよびボディの3本のピラー構造で保護。リヤからの衝撃には、リヤ部フレーム構造でのピラーの補強と燃料タンクの保護補強がとくに強化されています。さらに、衝突時に前方への胸部移動を減少させるクランプ機能付きシートベルトやダッシュボード、ドアパネル被覆素材の見直しなど細部にわたり受動的安全性を高めています。





Xantia SX

気品のある洗練された美しさは「良識の時代」にこそ
似つかわしい、ダイナミックなスタイリング、最高レベルの仕上げ、
快適な居住空間。生活を愉しむ人の、愉しき伴侶。



【主な標準装備品】●電動ドアミラー ●コンプレックス・サーフェイス・ツインユニットヘッドランプ
●リヤフォグランプ ●ハイマウントストップランプ ●花粉フィルター付ノンフロンエアコン(R134a)
●集中ドアロック ●パワーウィンドー ●リヤワイパー&リヤワイパーウォッシャー ●AM/FMラジオ
カセットステレオ ●非外懸キーレス・エントリーシステム ●185/65R14ミシュランラジアルタイヤ
【主なオプション品】●電動ガラスサンルーフ



- ① ランバーサポートで体型にジャストフィットするドライバーズシート。
- ② 7ポジション4速オートマチックレバー。
- ③ ナビゲーションを楽にする、助手席のマップリーダー。
- ④ ホルダー内に折畳める、キーレス・エントリー付きのイグニッションキー。
- ⑤ コンプレックスサーフェイスハロゲンヘッドランプ。
- ⑥ シートバックに便利なポケットが付いた凹型デザインのフロントシート。
- ⑦ モケット地内で貼り付けた照明付きグローブボックス。
- ⑧ 操作性に優れたパワーウィンドースイッチ。
- ⑨ フィーラーキャップのキャッチ付のフューエルリッド。
- ⑩ スキーや釣竿の収納に便利な「スキー・フラップ」付きセンターアームレスト。
- ⑪ 185/65R14ラジアルタイヤキヤスチールホイール。

Xantia

V-SX

大いなる感動の域に達する、知的でエレガントな
 ドライビング・プレジャー。ハイドラクティブIIを駆使しての余裕の走り。
 大人のクルマとはかくありたい、の新しき正統。



〔主な標準装備品〕●ハイドラクティブIIサスペンション●オートマチックバックモードドアミラー●ボディ同色ドアミラー●コンプレックス・サーフェイス・ツインユニットヘッドランプ●リヤフォグラмп●ハイマウントストップランプ●本革巻ステアリングホイール●花粉フィルター付ノンフロンエアコン(R134a)●集中ドアロック●パワーウィンドー●リヤワイパー●リヤワイパーウォッシャー●AM/FMラジオ●カセットステレオ●赤外線キーレス・エントリーシステム●185/65R14ミシュランラジアルタイヤ●アルミホイール

〔主なオプション品〕●電動ガラスサンルーフ●本革シート



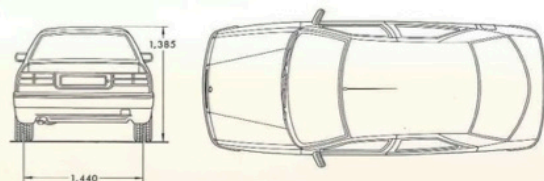
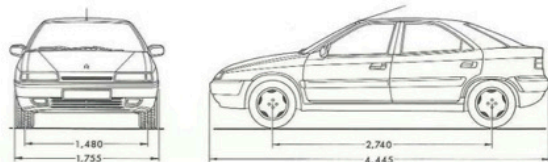
- ① リヤワインドーからの日差しをよわらげる巻取りリヤカーテン。
- ② 操作性にすぐれたデザインのドアミラー&パワーウィンドーコントロール。
- ③ センターピラーに組み込まれた残光式ルームランプ。
- ④ 収納可能なフロントセンターアームレスト。
- ⑤ 車の乗降やシート調節時に便利な助手席側グラブハンドル。
- ⑥ 自動点灯ランプ付きのバニティミラー。
- ⑦ スライドとチルト機能の付いた電動ガラスサンルーフ(オプション)
- ⑧ 外部温度表示付きのタコメーター。
- ⑨ エアコンのコントロールスイッチ。
- ⑩ ビューなハイファイサウンドが愉しめるAM/FMラジオ・カセットステレオ。
- ⑪ ハイト・リクライニング、スライド調節ができるパワーシート。
- ⑫ 185/65R14ラジアルタイヤ+アルミホイール。

TECHNICAL SPECIFICATIONS

主要諸元

通称名	エグゼンティアSX	エグゼンティアV-SX
ボディ形式	4ドア・ハッチバック	
車名・型式	シトロエンE-X1RF	
車両寸法・重量	(mm)	
全長×全幅×全高	4445×1755×1385	
ホイールベース	2740	
トレッド 前	1480	
トレッド 後	1440	
最低地上高	140	
車両重量 ()内:サンルーフ仕様	1330 (1350)	1380 (1400)
重量乗車定員	5	
10・15モード燃費	8.5 (km/L)	
エンジン	水冷直列4気筒OHC	
総排気量	1998	
ボア×ストローク	86.0×86.0	
圧縮比	9.5	
最高出力 (DIN)	120/5750 (ps/rpm)	
最大トルク (DIN)	18.3/2750 (kg-m/rpm)	
燃料供給装置	マルチポイント・インジェクション	
燃料及びタンク容量	無鉛プレミアム 65 (L)	
ミッション	オートマチック4段(ロックアップ機構付)	
変速機形式・変速段数	オートマチック4段(ロックアップ機構付)	
変速比		
	第1速	2.510
	第2速	1.424
	第3速	1.040
	第4速	0.768
	後退	2.942
減速比	3.823	
シャーシ	ラック&ピニオン式	
ステアリング形式	マクファーソンストラット	
サスペンション	トレーリングアーム	
サスペンションシステム	ハイドロニューマチック	ハイドラクティブII
ブレーキ 前/後	ベンチレーテッド・ディスク/ディスク	
タイヤ 前/後	185/65R14	
ホイール	5.5J×14スチール	5.5J×14アルミ

■日本で販売されるクルマの仕様は、細部でカタログ写真と異なる場合があります。■ボディカラーおよび内装色は撮影、印刷条件により、実際の色と異なって見えることがあります。■本仕様は改良のため予告なく変更する場合があります。



EQUIPMENT

主要装備

通称名	SX	V-SX
エクステリア		
ボディ同色ドアミラー		○
電動リモコンドアミラー(熱線入り)	○	○
オートマチック・バックモード・ドアミラー		○
フロント間欠ワイパー	○	○(可変間欠機構付)
リヤ間欠ワイパー&ウォッシャー	○	○
リヤ熱線プリントガラス(自動カットオフ付)	○	○
コンプレックスサーフェスツインユニットヘッドランプ	○	○
リヤフォグランプ	○	○
ハイマウントストップランプ	○	○
電動ガラスサンルーフ	△	△
グリーンティンテッドガラス	○	○
シートまわり		
本革シート		△
電動アジャスト機構付フロントシート(スライド、リクライニング、ハイト)		○
フロントシートバックポケット	○	○
可倒式フロントアームレスト		○
高さ、角度調整付フロントヘッドレスト	○	○
40/60可倒式リヤシート	○	○
スキーフリップ付リヤセンターアームレスト	○	○
高さ、角度調整付リヤヘッドレスト	○	○
3点式フロントシートベルト	○	○
リヤシートベルト	○	○
フロントシートベルトアンカー高さ調節	○	○
インテリア		
花粉フィルター付ノンフロンエアコン(R134a)	○	○
クオメーター	○	○
警告灯(冷却水残量、オイル、ブレーキ、油圧)	○	○
デジタル式外部温度計		○
水温計	○	○
油温計		○
デジタル時計	○	○
マップリーダー	○	○
フットレスト	○	○
灰皿、シガーライター	○	○
サンバイザー(左右バニティミラー付)	○	○
バニティミラー・照明付助手席サンバイザー		○
巻取式リヤカーテン	○	○
フロント/リヤドアポケット	○	○
荷物固定用係留リング(4個)	○	○
読光式ルームランプ	○	○
オーディオ		
AM/FMカセットステレオ	○	○
スピーカー数	6	6
機能装備		
本革巻ステアリングホイール		○
チルト・ステアリング	○	○
車速感応式パワーステアリング	○	○
キーレスエントリーシステム・集中ドアロック	○	○
パワーウィンドー(運転席ワンタッチ機構付)	○	○
後席チャイルドセーフティロック	○	○
ハイドラクティブIIサスペンション		○
アルミホイール		○
ラジアルタイヤ・185/65R14(ミシュランMXV3)	○	○

○=標準装備品 △=オプション品
保証期間:2年または50,000km

東京地区車両本体価格です。それ以外の方は、店頭にてお問い合わせください。'93年11月1日現在

モデル	ハンドル	型 状	排気量 (CC)	ミツシヨンス	車両本体価格	装 備 / オ プ シ ョ ン											付 属 品		
						ウ ィ ン ド ウ F	電 動 リ モ ト ア ミ ニ ア ー	集 中 ド ア ロ ック	キ ー レ ス エ ン ト リ ー	エ ア コ ン	ス テ ア リ ン グ	A B S	レ ザ ー シ ー ト	M M カ セ ッ ト A F ス テ レ オ	サ ン ル ー フ	ア ル ミ ホ イ ール	メ タ リ ッ ク	フ ロ ア マ ッ ト	愛 車 セ ッ ト

AX SERIES

AX 14 TRS	左/右	4ドア ハッチバック	1,360	5MT	1,730,000	●		●	●	● ^{※(1)}			●								
AX GT	左	2ドア ハッチバック	1,360	5MT	1,830,000	●		●	●	●			●	▲						10,000	13,000
AX GTi	左	2ドア ハッチバック	1,360	5MT	1,990,000	●		●	●	●			●	50,000							

ZX SERIES

ZX SPECIALE	左/右	4ドア ハッチバック	1,579	4AT	2,110,000					●	●		●								
ZX CLUB	左/右	4ドア ハッチバック	1,579	4AT	2,270,000	●		● ^{※(2)}	●	●	●		▲	●	▲				▲	12,000	13,000
ZX SUPER	左/右	4ドア ハッチバック	1,904	4AT	2,690,000	●		● ^{※(2)}	●	●	●		160,000	●	80,000			●	40,000		

XANTIA SERIES

XANTIA SX	左/右	4ドア ハッチバック	1,998	4AT	3,250,000	●	●	●	●	●	●			●	▲						
XANTIA V-SX	左/右	4ドア ハッチバック	1,998	4AT	3,500,000	●	●	●	●	●	●		▲180,000	●	80,000			●	●	15,000	13,000

XM SERIES

XM-S	左/右	4ドア ハッチバック	2,975	4AT	4,540,000	●	●	●	●	●	●			●							
XM	左/右	4ドア ハッチバック	2,975	4AT	5,210,000	●	●	●	●	●	●			●							
XM-X	左/右	4ドア ハッチバック	2,975	4AT	6,080,000	●	●	●	●	●	●			●	●						
XM BREAK	右	ステーション ワゴン	2,975	4AT	5,550,000	●	●	●	●	●	●			●	▲120,000						

※(1)右ハンドル車はクーラーとなります。 ※(2)助手席側のみとなります。 ●標準装備 ▲オプション (単位:円)

(付属品の内容)

セーム皮、ワックス、ワイパーテック、ウインドウウォッシャー液、プライターモップ、オイルジョーゴ、CRC、手袋、収納バッグ、キーホルダー、フロアマット、スパナキット。(車種によって異なることがあります。)

■車両本体価格は、スペアタイヤ、工具付の価格です。フロアマット等は別途お買い求め下さい。
■価格には、保険料、税金(含む消費税)、登録等に伴う諸費用は含まれておりません。
■上記の価格は予告なしに変更することがあります。

モデル	諸 元											
	型 式	全長 (mm)	全幅 (mm)	全高 (mm)	ホイール ベース (mm)	車両重量 (kg)	乗車定員	エンジン	燃料供給 装置	最高出力 ps/r.p.m (DIN)	最大トルク kg-m/r.p.m (DIN)	タイヤ サイズ

AX SERIES

AX 14 TRS	E-ZAKD	3,525	1,555	1,350	2,280	810 (820)	5名	水冷直列4気筒 OHC	インジェクション	75/6,200	11.3/4,000	155/70R13
AX GT	E-ZAKD	3,515	1,595	1,350	2,280	800 (810)				75/6,200	11.3/4,000	165/65R13
AX GTi	E-ZAKF	3,515	1,595	1,340	2,280	820 (830)				95/6,600	12.2/4,200	185/60R13

ZX SERIES

ZX SPECIALE	E-N2BD	4,070	1,695	1,405	2,540	1,080	5名	水冷直列4気筒 OHC	インジェクション	89/6,400	13.5/3,000	175/65R14
ZX CLUB	E-N2BD	4,070	1,695	1,405	2,540	1,090 (1,120)				89/6,400	13.5/3,000	175/65R14
ZX SUPER	E-N2DK	4,085	1,690	1,390	2,540	1,120 (1,150)				120/6,000	15.6/3,000	185/60R14

XANTIA SERIES

XANTIA SX	E-X1RF	4,445	1,755	1,385	2,740	1,330 (1,350)	5名	水冷直列4気筒 OHC	インジェクション	120/5,750	18.3/2,750	185/65R14
XANTIA V-SX	E-X1RF	4,445	1,755	1,385	2,740	1,380 (1,400)				120/5,750	18.3/2,750	

XM SERIES

XM-S	E-Y3SF	4,710	1,795	1,395	2,850	1,470	5名	水冷V型6気筒 OHC	インジェクション	170/5,600	24.5/4,600	205/60R15
XM	E-Y3SF	4,710	1,795	1,395	2,850	1,500				170/5,600	24.5/4,600	
XM-X	E-Y3SF	4,710	1,795	1,395	2,850	1,530				170/5,600	24.5/4,600	
XM BREAK	E-Y3SFW	4,965	1,795	1,465	2,850	1,580 (1,600)				170/5,600	24.5/4,600	

()は、サンルーフ仕様

